

教科	美術
----	----

目標	造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。
将来の生活に向けて授業で付けたい力	<ul style="list-style-type: none"> 表現する喜びと、ものの美しさを感じる豊かな情操 表現に必要な造形材料・用具の知識及び技能

学習評価

	観点	評価について
a: 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料・用具の扱い方 作品の表現方法(技法)
b: 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや美しさ、表現の意図の工夫などについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業での発表、発言 鑑賞カード
c: 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む姿勢 授業での発表、発言 提出物、準備物等

関連する行事等

全学年: 文化祭(10月) 富山県高等学校文化祭(11月)

使用教科書

つくる・見る・学ぶ 美術のきほん(日本文教出版)

学習内容 <美術科 1学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4・5月	身近な美術 いろいろな表情 (1)	(知) 丸い輪郭の中に描く目、鼻、口のパーツの位置次第で、表情ががらりと変わることが分かる。 (思) 笑顔、怒った顔、泣き顔などの表情を描き分ける。 (主) 身の回りにあふれる「美術」に関心をもち、自分の思い付く「美術」を意欲的に発表する。
		絵画 ・動物のスケッチ (4)	(知) 表情やポーズの違う様々な動物の写真から1枚を選び、目や口の角度、顔の角度、皮膚の柔らかさ等に気を付けて鉛筆で描き上げる。 (思) 顔の陰や体毛などの色の違いを表現するために、色鉛筆の濃淡や重ね塗りなどの工夫をする。
	6・7月	立体表現 ・静物のデッサン 色彩 ・混色 (3)	(知) 直方体の箱に当たる光と影の色の違いや影の大きさなどを捉え、2B鉛筆で濃淡をつけて描く。 (思) 水彩絵の具を使って混色し、12色相環を仕上げる。 (主) 色の三原色である赤、黄、青の絵の具を混ぜることで色が変化することに関心をもち。
後期	9・10月	工芸 ・張り子 (8)	(知) 曲がった面に貼りやすいよう、障子紙をちぎる。 (思) 出来上がりをイメージしたアイディアスケッチに沿って作品を仕上げる。 (主) 長い障子紙を手で引き裂きながら、和紙の素材を感じ、紙を扱うことへの興味や関心を高める。 (主) 約3~5cm角程度にちぎった障子紙を、厚みや隙間に気を付けながら紙粘土で作った土台に貼り重ね、丈夫な硬さの張り子に仕上げる。 (主) 紙質を生かした3種類の装飾の仕方から好きなやり方を選ぶ。



	月	単元名 (時数)	学習のめあて
後期	11月	鑑賞 ・友達の作品 (1)	(主) 友達の文化祭展示作品の中から、構図、色、アイデアなどの観点で、良いところを見付け、観賞カードにまとめる。
		版画 ・名画の鑑賞 (2)	(知) 世界の有名な絵画について、制作者や時代背景、技法などを知る。 (思) 気に入った作品を一点選び、感じたことや、その作品の良さについて考えをまとめ、発表する。
	12・1・2・3月	版画 ・一版多色木版「名画の模写」	(知) カーボン紙を使って、絵柄のもとになる線を版木に転写し、下絵を完成させる。 (思) 名画をよく見て版画に生かす線を選び、丁寧に写し取る。
		(12)	(知) 版木を押さえる手の位置や彫刻刀の持ち方など、安全な彫り方が分かる。 (知) 力加減や向きをコントロールして、彫刻刀で丁寧に線彫りする。 (思) 画用紙にのりやすい絵の具の柔らかさを理解し、適度な水加減で、版木に適切な量の絵の具をのせて画用紙に刷る。 (主) 名画を鑑賞して受けた印象を混色や重ね塗りなどを工夫して表現しようとする。

学習内容 <美術科 2学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 月	かいが 絵画 ・身近な風景を遠近 ほう 法で描こう (10)	(知)遠近法の基本的な技法を理解する。 (知)下描きした風景画に、色鉛筆や絵の具を使って着色し、光 や影などを表現する。 (思)写真を基に、近くの物と遠くの物との距離感や見え方の違い を捉えながら下描きを描く。 (思)背景の奥行きを考え、絵の具の濃淡や塗り方を工夫して着 色する。 (主)工夫したところや、鑑賞者に着目してほしいところを作品 カードにまとめる。
	9 ・ 10 月	こうげい 工芸 ・ボックスアート (7)	(知)インターネットサイトや本を基にして、テーマを決める。 (思)自分で決めたテーマに合う表現を考え、設計図を作成する。 (主)自分で決めたテーマのイメージに合わせ、材料や色調、配 置を工夫しながら制作する。
	11 月	かんしょう 鑑賞 ・友達の作品 (2)	(主)友達の展示作品の中から、構図、色、アイデアなどの観点 で、良いところを見付け、観賞カードにまとめる。
後期	12 ・ 1 ・ 2 ・ 3 月	はんが 版画 ・思い出を単色木版 であらわ で表そう (12)	(知)平刀、三角刀、丸刀、切り出し刀の特徴を知り、彫る箇所に 合わせて使い分ける。 (知)彫刻刀の安全な使用方法を守って彫る。 (思)写真から必要な対象物を捉えて構図を決め、版画のため下 え絵を描く。 (思)刷ったあとの白と黒のバランスや効果的な表現を考えなが ら彫る箇所を決める。 (主)インクの量やばれんの力加減を工夫しながら、作品を刷り上 げる。

学習内容

<美術科 3学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4・5月	デザイン ・絵文字をデザインしよう (10)	(知) 書体の種類や特徴、与える印象の違いを知る。 (思) 文字の意味から連想した形や色を絵に表し、文字と組み合わせ、絵文字のデザインスケッチをする。 (主) スケッチを基にし、これまで習った技法や画材、配色などを工夫しながら作品を仕上げる。
	6月	映像メディア表現 ・写真の表現 (6)	(知) 写真を見比べながら、構図や明るさなど写真の撮影に必要な基本知識を知る。 (思) 被写体を決めてデジタルカメラやタブレット端末で撮影し、効果的な表現方法を考えながら、撮影した写真を加工して作品を仕上げる。 (主) 友達と共同し、遠近法を意識した写真撮影に取り組む。
	9・10月	デザイン ・色彩構成 (12)	(知) 図形を用いた身の回りのデザインを知る。 (知) アプリケーションソフトの機能や使用方法を知る。 (思) 自分で決めたテーマのイメージに合わせて、図形を組み合わせ、画面を構成する。 (主) アプリケーションソフトの機能を生かし、配色や画面構成などを積極的に試しながら制作に取り組む。
後期	11・12月	工芸 ・卒業制作 「メモリアルボックス」 (12)	(知) ニードルの種類や削り方の違いによる表現方法を知る。 (知) ニードルを安全に使用して、削る。 (思) テーマに合った絵柄を考え、アイデアスケッチする。 (思) 作品の仕上がりをイメージしながら、アクリル絵の具や色紙を用いて色を付ける。 (主) 工夫したところや、鑑賞者に着目してほしいところを作品カードにまとめる。
	1・2月	絵画 ・友達の似顔絵を描こう (8)	(思) 友達の表情やポーズをよく観察しながら鉛筆で人物画を描く。
		鑑賞 ・美術展の作品鑑賞 (2)	(思) 美術展の作品や有名な作品を鑑賞し、作品の面白さや美しさを感じ取り、その内容について自由に発表する。